

厚労省が救済を認定 コロナワクチン接種後死亡 30 人とはどんな人たちなのか

2023/2/17 日刊ゲンダイ

新型コロナワクチンの健康被害を審査する厚労省の「第 156 回疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会」が 10 日に開催され、新たに 10 人の死亡一時金（4420 万円）と葬祭料（21 万 2000 円）の請求が認められた。これにより昨年 7 月 25 日開催の第 150 回審査会で 91 歳の女性の接種後死亡の救済が認定されて以来、計 7 回の審議を経て死亡一時金と葬祭料が認定された合計は 30 人となった。認定された 30 人はどのような人たちだったのか？ 厚労省の公開資料を改めて整理してみた。

今回認定された 10 人の内訳は男性 6 人、女性 4 人で、年齢は 59～89 歳だった。死因は突然死 3 人、脳出血 1 人、高血圧と脳幹出血 1 人、くも膜下出血 1 人、脳幹梗塞・小脳梗塞 1 人、うっ血性心不全 1 人、胸腹部大動脈解離 1 人、喉頭浮腫 1 人だった。10 人のうち基礎疾患なしは 3 人で、糖尿病の持病があった 5 人のうち 4 人は高血圧症も持っていた。

10 人のデータを具体的に見ると、①突然死した 66 歳男性（関連する基礎疾患及び既往症として糖尿病、高血圧症、脂質異常症あり）②突然死した 78 歳男性（糖尿病、糖尿病性腎症第 4 期、心房細動、左脚ブロック、高血圧症あり）③脳出血死の 88 歳女性（高血圧症、上室性期外収縮あり）④突然死した 73 歳男性（糖尿病、末期腎不全、高血圧症、ネフローゼ症候群あり）⑤高血圧と脳幹出血で亡くなった 66 歳男性（関連する基礎疾患及び既往症なし）⑥うっ血性心不全で亡くなった 80 歳男性（糖尿病、高血圧症、脂質異常症、じん肺あり）⑦くも膜下出血で亡くなった 59 歳女性（関連する基礎疾患および既往症なし）⑧脳幹梗塞・小脳梗塞で亡くなった 76 歳男性（心房細動あり）⑨胸腹部大動脈解離で亡くなった 79 歳女性（関連する基礎疾患及び既往症なし）⑩喉頭浮腫で死亡した 89 歳女性（糖尿病、脳梗塞、心房細動、狭心症、慢性心不全、慢性腎不全、閉塞性動脈硬化症、薬剤アレルギーあり）で、死因のほとんどは血管に関連する疾患だった。

今回分を含めてこれまで認められた死亡一時金と葬祭料 30 人の性別は男性 16 人、女性 14 人。最年少は 26 歳女性、最高齢は 96 歳女性。平均年齢は 74.8 歳だった。

審査会ごとの認定数を見ると、第 150 回（2022 年 7 月 25 日開催）1 人、第 151 回（同 9 月 9 日）2 人、第 152 回（同 10 月 17 日）1 人、第 153 回（同 11 月 7 日）6 人、第 154 回（同 12 月 12 日）5 人、第 155 回（23 年 1 月 12 日）5 人、第 156 回（同 2 月 10 日）10 人。第 153 回から明らかに認定人数が増えている。これは、昨年 11 月 2 日の衆院厚労委員会で加藤厚労大臣が新型コロナワクチン接種の健康被害申請が急増していることについて「審査の迅速化が必要」との認識を示したことに関連しているのだろう。

■基礎疾患なしは 26 歳女性を含め 5 人

死因は突然死 5 人、くも膜下出血 5 人、脳出血（脳幹、小脳出血含む）4 人、脳梗塞（脳幹梗塞・小脳梗塞など含む）3 人、心筋梗塞 2 人、急性心不全 2 人、うっ血性心不全 1 人、急性冠症候群 1 人、急性循環不全 2 人、出血性ショック 1 人、胸腹部大動脈解離 1 人、喉頭浮腫 1 人、脳静脈洞血栓症 1 人など。

新型コロナワクチンの副反応はアレルギーや心筋炎を心配する声が多いが、死因としては脳の出血、脳や心臓の梗塞など血管に関連する病気が目立つ。また、血小板減少症が関係するとみられる症例もあった。

関連する基礎疾患及び既往症なしは 26 歳女性、36 歳男性を含めた 5 人。逆に基礎疾患

及び既往症ありの人の平均病名数は約3つで、中には8つ抱えている人もいた。

基礎疾患及び既往症が目立ったのは高血圧症の17人、糖尿病の7人だった。

なお、新型コロナワクチン接種後の健康被害の届け出は、死亡一時金や葬祭料以外に医療費・医療手当や障害年金などについても出されており、これまで受理した件数は6219件。そのうち1622件を認定して、190件を否認、現在の保留件数は31件となっている。

同分科会は認定にあたって、事例ごとに「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も対象」との考えに基づいて審査している。

ちなみに、今年1月20日開催の新型コロナワクチンに関する専門部会に提出された資料「予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について」によると、ワクチン接種が始まって22年12月18日までに医療機関から新型コロナワクチンの副反応として報告があった件数は3万5991件。うち8333件が重篤だった。また、死亡の総数は1967件となっている。